



教養研究センター実験授業支援制度「アート思考」で学ぶオペラと美術」 第一回講演会

20XX年の

革命家になるには

——スペキュラティブ・デザインの授業

本プロジェクトでは、学生たちがアート思考にふれ自由に思考の翼をひろげながら、それを各自の専門へ還元していくような新しい教授法の可能性を探っています。その第一弾として、理工学部長谷川愛准教授をお招きし、越境的かつ批判的なまなざしで、問題解決ではなく問題提起に注力する「スペキュラティブ・デザイン」という思考方法についてお話いただきます。

講師

長谷川愛氏

慶應義塾大学理工学部機械工学科総合デザイン科学専修准教授

現代アーティスト。生物学的課題や科学技術の進歩をモチーフに、現代社会に潜む諸問題を掘り出す作品を発表している。代表作に(不)可能な子供、Human X Shark、I wanna deliver a Dolphin... などがある。MoMA (NY)、MoCA Shanghai (上海)、森美術館 (東京)、ホロン・デザインミュージアム (イスラエル)、第22回ミラノ・トリエンナーレ (2019) 等、国内外で活躍中。2020年には『20XX年の革命家になるには——スペキュラティブ・デザインの授業』を出版。

2024/02/06 火

14:00 - 16:00 [開場 13:45]

日吉キャンパス 来往舎2階 小会議室

慶應義塾の教職員対象 | 無料 | 事前予約制・当日参加可

先着20名(事前予約優先) ※定員になり次第受付を終了します

お問い合わせ

理工学部准教授 荒木文果 f-araki@keio.jp

主催 | 教養研究センター実験授業支援制度「『アート思考』で学ぶオペラと美術」

協力 | 日吉美術研究室

次回講演会

2024/02/29 (木) 14:00-16:30

アートを用いた教育やセラピーにアート思考を活用する専門家おふたりにお話を伺います。

講師 | 村山にな氏 (玉川大学芸術学部 教授)

松下智子氏 (九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻 准教授)

詳細・お申込み

